

町田の考古学は玉川学園から始まった!

企画展

考古資料展

— 玉川学園考古学研究会の軌跡 —

体験会

「4000年前の縄文土器にさわってみよう!」

10月28日(土)、11月26日(日)、12月9日(土)

各日13:00~15:00 申込不要

2017年

10月16日(月)~12月17日(日)

開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで) 入館無料

休館日 10月21日(土)、22日(日)、11月18日(土)、19日(日)、12月3日(日)、10日(日)

主催: 玉川大学教育博物館 後援: 町田市教育委員会 協力: 町田市立博物館・(株)玉川文化財研究所

関連行事

◆ミニシンポジウム「玉川学園と考古学」(仮)

11月12日(日) 13:30~15:00 申込不要

会場: 玉川学園中学年校舎講堂(教育博物館内から入場)

講演: 戸田哲也氏(玉川学園考古学研究会OB・日本考古学協会会員)ほか

◆学内遺跡見学会「玉川学園の遺跡と丘めぐり」

11月3日(金・祝) 13:30~15:00 要事前申込 荒天中止

学芸員の案内で学園構内に所在する遺跡を巡って見学します

◆ギャラリートーク

10月27日(金)、11月23日(木・祝)、12月6日(水)

各日13:30~14:30 申込不要

学芸員が展示室でみどころを紹介します



(背景) 田端環状積石遺構 発掘調査風景(1968年)
(土器) 御嶽堂遺跡出土深鉢(縄文時代中期・新道式)(部分)

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

小田急線「玉川学園前」駅下車南口より徒歩15分

電話 042-739-8656 ホームページ www.tamagawa.jp

*行事の詳細は、当館ホームページをご覧ください

玉川学園では、「全人教育」の理念の下、体験を通じた学びや創造を重視する「劳作教育」や、自らの関心あるテーマをとことん追求する「自由研究」という独自の教育活動を展開しています。1960(昭和35)年に中学生による自由研究考古学クラブが発足し、彼らの成長とともに1967(昭和42)年、玉川学園職員であった考古学者の浅川利一を指導者とする「玉川学園考古学研究会」に発展しました。この研究会は、玉川学園で学ぶ上は大学・短大生から下は小学生まで、考古学に興味をもつ多様な世代が参加する非常にユニークな組織でした。

玉川学園が所在する町田市域は、1960年代からベッドタウン化が始まり、それに伴い都心の大学が主体となって遺跡調査も行われるようになりました。浅川は、町田在住の考古学研究者として市域の文化財保護に奔走していましたが、1960年代後半から開発の勢いが増す中で、玉川学園考古学研究会を率いて、自ら精力的に市内の遺跡の発掘調査を実施していきました。

この時期は、遺跡調査を行政主体で実施するようになる前で、町田を地盤とする研究集団で遺跡調査を担えたのは、玉川学園考古学研究会が唯一の存在でした。地元密着の考古学的調査は、玉川学園関係者によって開始されたのです。

玉川学園考古学研究会では、縄文時代中期の集落・後期の墓域・晩期の環状積石(ストーンサークル)である^{たばた}田端遺跡(東京都指定史跡)(1968-69年調査)や、土器捨て場からユニークな形状をしたものを含め多数の土器が発見された^{みたけどう}御嶽堂遺跡(1969-70年調査)など、重要な遺跡の発掘調査を立て続けに手掛けていきました。

この度、当時の関係者の協力を得て、田端・御嶽堂両遺跡の調査資料について、改めて整理を行い発掘調査報告書を刊行することができました。これを記念して、両遺跡の出土品の公開を中心に、調査を担当した玉川学園考古学研究会の活動の軌跡をたどり、さらに玉川学園における考古学研究の歩みや、研究会を生み出した自由研究での取り組みを紹介いたします。



御嶽堂遺跡出土深鉢
(縄文時代中期・新道式 町田市立博物館)



御嶽堂遺跡出土土偶
(縄文時代中期)



田端遺跡出土深鉢
(縄文時代中期・藤内I式)



田端遺跡出土深鉢
(縄文時代中期・藤内I式)



御嶽堂遺跡出土浅鉢(縄文時代中期 町田市立博物館)とその出土状況



御嶽堂遺跡発掘の学生を激励する小原芳玉川大学長(1969年)

〔お問い合わせ〕

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

小田急線「玉川学園前」駅下車南口より徒歩15分

電話 042-739-8656 e-mail: museum@tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp

※駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

